

宮崎公立大学の今を伝える

MMU SHiP

エムエムユー
シップ

vol.14

2020. March

巻頭
特集

“先生”を
目指すキミに
知っておいて欲しい

10の
エッセイ

学生企画 1

Would you show us
YOUR ROOM?

学生企画 2

MMU FASHION RELAY

KYO-SHIP

親界よっ!

@MIYAZAKI

CIRCLE de GOSHIP

MMU NEWS

いいだっっべ

未来のCompass

01 中学・高校の英語教員の免許が取れる！ +小学校教員の免許取得が目指せる



MMUには、英語教員を養成するための「教職課程」があります。この課程を履修することで、中学校教諭一種、高等学校教諭一種の免許状が取得できます。小学校教員を養成するための「教職課程」はありませんが、連携先大学(星槎大学 共生科学部通信制課程)の科目等履修生として、必要な科目を履修する※1ことで、小学校教諭一種(二種)免許状を取得することもできます※2(ただし、MMUの教職課程を履修して中学校教諭一種免許状を取得することが前提)。

※1 履修内容は、課題レポート作成・スクーリング受講・科目修得試験など
※2 本学の授業料とは別に、星槎大学の学費がかかる。履修料・小学校教諭一種:約50万円、小学校教諭二種:約31万円 ※教材費及びスクーリング会場までの旅費は別途必要



- 充実した試験対策
- <1次試験対策>
 - 教職教養勉強会・専門教養勉強会
 - 各種資料作成支援・小論文指導など
 - <2次試験対策>
 - 個人面接・集団面接指導
 - 模擬授業指導・集団討論指導 など

03 教採や英語教育に精通した プロフェッショナルが徹底サポート!

教員採用選考試験(以下:教採)は狭き門。MMUでは、教採対策に特化した支援を行う「教職支援室」を設置しています。試験対策に精通する客員教授が、教採に関する情報提供を行うとともに、「一次」「二次」試験に向けて充実した試験対策を行っています。さらに教職支援室は現役学生だけではなく、教採に励む既卒者や、教員として現に活躍するOB・OGも集まる、情報交換の場にもなっています。

教職支援室では毎月第2金曜日に「教職支援室便り」を発行し、試験に関する情報や学生、既卒者の様子をきめ細やかな視点で発信しています。具体的な支援内容にも触れているのでぜひ覗いてみてください。



学生の声

模擬面接は週3回! トコトン付き合っていたいただき冷静に本番に臨めました
神奈川県・高校教員資格
4年 漆畑 朱梨

本番 面接官を前にした時、頭の中に曾我先生の顔が浮かぶほど(笑)毎日のように支援室に通い、何度も何度も模擬面接にお付き合いいただきました。私は地元神奈川県で受験したのですが、先生は自治体ごとの試験形式と出題傾向を把握されており、的確な助言をいただきました。個々の志望に応じて指導していただけるのは本当にすごいです。

同じ目標をもつ仲間やOB・OGの現役教員と繋いでいただきました
宮崎県・中学校教員資格
4年 熊元 玲央

出題されそうな時事問題をリストアップして下さったり、同じ自治体を受験する人をご紹介いただいたり。必要なものは全部用意してくださいました。さらに、細かい疑問も解消できるようにと現役教員の方と繋いで下さったことも、模擬授業対策には英語教員として長年教壇に立たれていた本学教授に立ち会っていただいたので、かなり心強かったですね。

02 教育は“教育学”だけでは語れない! 厚みのある学びがここにはある

MMUでの学びの中核をなすのは、何と云っても「リベラル・アーツ教育」。実社会で生きる幅広い「教養」知識を蓄えつつ、自分の興味に応じて「専門」分野を深く掘り下げて研究します。学びが教育分野に限定されない点が、一般的な「教育学部」との最も大きな違いでしょう。これらはすなわち、多面的な価値観と柔軟な思考を備えた教員として羽ばたくための土壌を養っているのです。

しかし、決して楽な道ではないことも留意しておかなくてはなりません。教員免許取得希望者は、卒業要件に含まれる科目にプラスして、「教職課程科目」の単位取得をクリアしなくてはならないからです。MMUを卒業して見事「先生になる」という夢を乗り越えてきただけの「強靱さ」を備えているといえるかも知れません。

10のコト

柱に据えるMMUだからこそ、受けられ考えている人は、ぜひこれを読んでメッセージしてみてください。

“先生”を目指すキミに 知っておいて欲しい

小規模大学で、リベラル・アーツ教育をやる支援があります。「先生になりたい」とMMUで夢を叶えるまでの道のりをイ

04 学校現場を体感するチャンスは 教育実習だけじゃない

学校現場に足を踏み入れるチャンスは教育実習だけではありません。教職支援室では、教員を目指す上で不可欠な学校現場体験活動の機会を提供しています。

主な例として、地域の中学校などでの英語授業補助、サマースクールのボランティア、「スクールトライアル事業」※1などがあります。参加はいつでも任意、随時募集されます。現場の空気を肌で感じる貴重な機会です。MMUで教員を目指すなら、積極的に体感してみてください。

※ 3日間ほど始業から終業まで教員と行動を共にして、日常の職務内容を体験する(宮崎県教育委員会事業)

05 OB・OGを招いたフォーラムを開催 英語教育の発展に貢献

令和元年12月21日(土)、「英語教育フォーラム2019 大学生・大学院生・教員の視点から英語教育の理論と実践を考える」と題し、宮崎県内外の英語教育関係者に広く呼びかけ、フォーラムを開催しました。今まさに教育の現場で活躍する本学OB・OGの小学校、中学校、高等学校、そして大学の教員による事例発表。さらに、参加者による情報交換グループ討議の時間も設けられ、当日参加いただいた現役教員の方々と学生たちによる活発なディスカッションが行われました。

これまで250名以上の教員を輩出してきたMMU。宮崎の英語教育の発展に貢献し、教員ネットワークを構築するために、今後も定期的・自主的な研究会や研修等の開催を目指しています。



中学校(高等学校)免許取得志望者の時間割(一例)

2年次・後期	月 火 水 木 金				
	教育心理学B	国際社会学		行政論	
1時限					
2時限	Speech IV	キャリア設計II	CALL D	教育社会学	
3時限	ジャーナリズム論		倫理学	情報デザイン	マス・コミュニケーション論
4時限	教師論	人権教育			Web+DBシステム入門
5時限	英語学概論			基幹演習B	

3年次・後期	月 火 水 木 金				
		詳しくは03へ	教育方法	道德教育	英語科教育法II
1時限					
2時限	平和学		ソーシャルデザイン		
3時限	金融論	教員採用選考試験対策勉強会	英語評価論	情報デザイン	
4時限		考古学		専門演習II	
5時限		教育課程と特別活動			

※入学年度によって、履修するカリキュラムが異なり、それぞれの区分ごとに修得すべき科目・単位数が定められています



先輩に聞いてみた!

教育実習も教採も、先生を目指す道は不安なことだらけ。「具体的に何をすればいい?」「3年生の三瀬さんに、みんなを代表して質問してもらいました。答えるのは、4年生三瀬さん、教職課程を担当する竹野先生と野崎先生です。」

Q 教育実習どうだった? 気をつけるべきことは?

(三瀬さん) 以下、(輪) 1 回目の教育実習は、小学校で。教科書を買って予習して、自分の研究授業(※)はどのような内容になるかを先生に聞いて、何度も練習して準備しました。でも実際行ってみると、想像以上にできないことが多くて焦ったなあ。中学校での実習はさらに大変! 1 年生を2 クラス担当して、2 週目からは1 日2 時間ずつ授業。それぞれ進度が違うから、準備もそれぞれ。もうヘトヘトになりました。生徒指導は「筋道ではないし...」でも、他の子の話を聞くと、全然実習内容が違ってびっくり!

08 広く学ぶことは必ず役に立つ

(輪) 私は実習校の校長先生から、「この1カ月頑張ったら、きつと大丈夫と言っていたきました。確かに、精神的に強くなれたと思います。実際、教採の模擬授業も緊張せずに行きました。(三瀬さんに目配せして楽しかったよ、大丈夫!」

(三瀬さん) 以下、(瀬) 不安です(笑)。完璧に準備したつもりでも、予想外のことってあるんですね。
(竹野先生) 以下、(竹) 実習はスムーズに終わらない方がむしろいいですよ。先生になってからのが大変なんです。から。
(野) 一人で突っ走らず、周囲の先生や生徒と「コミュニケーションをとっていくことは必要。一方で、意欲的な姿勢は常に心掛けておくべき。実習先の先生方はたまたま色々だからね。」

Q 教採に向けて、どんな準備をしましたか?

(輪) 教採はとにかく勉強すべきことが膨大。週2回、教職支援室の「教採対策勉強会」にプラスして、3年次の3月からは自主学習も本格的に。朝9時から昼まで自習、昼から勉強会に参加して、爆発しそうな時は、友だちと話して息抜き(笑)。そして家に帰ったら、また夜中の1時くらいまで勉強して...。教育実習中は勉強できないから、実習期間に入る前はみんな特に根を詰めて取り組んでました。教職を目指す仲間

06 同じ目標をもつ仲間がいれば頑張れる!

とお互いに教え合ったり、頻出問題を出し合った

り、一緒に頑張った方がやる気が出るよ!

(瀬) 先輩方みなさん、そう言いますよね。おのずとそういう雰囲気になっていくんでしょうか。

(輪) なる! 結束力が生まれてくる気がするよ。

(野) その「学び合い」の経験自体も、いい勉強になるだろうね。

Q 英語教員を目指すなら、英語力はどのレベルを目指すべき?

(竹) もちろん英語の能力はあればあるだけ良いですよ。でも、「苦手」がむしろ強みになることもある。もし、「英語が苦手」だと思えば、「どこが、どういう風にできないのか」を自分で分析してみるというと思う。「どうしたらできるようになった」という経験が生徒への指導で活かせる。だから、「できない」ということは、完全なデメリットではないよ。でも、できる方が幅のある指導に繋がるから、勉強してくださいね(笑)。

07 最も肝心なのは「英語で何を伝えたいか」

(竹) もう一つ、英語教育では、「英語で何を伝えたいのか」が一番大事なこと。忘れて欲しくないな。伝えたいことがあれば、ブローカーでも何でも、積極的に話をするようになる。パーフェクトな英語を習得させようとする、とすれば、中はどうでもいいということになってしまふ可能性がある。「中身が大事で、それをうまく伝えるのは間違いないが、少ない方がいい」という考え方が望ましいよね。「自分は何を伝えたいか」を子どもから引き出す教員を目指すといよ。

Q MMUで教職課程を履修して良かったことは?

(輪) 教育学部じゃないから、メディアや国際系、英語学なんか幅広く学べるところが一番かな。面接でも、違う視点から教育について問われた時に、他分野の講義で学んだ切り口で回答できたのが良かったですね。もつとと言うと、大学全体でみて

教職を目指す学生が多くないからこそ、仲間同士結束力が高まるし、サポートが一人ひとりに対してすごく手厚いのも魅力。疑問点があれば先生を捕まえて(笑)すぐに質問できるし。

(瀬) 確かに! 小さい大学だからその特権ですよ。

(輪) うん。ただ、4年次の前期はかなりヘビーだったな(笑)。教育学部では3年次に行くことも多い教育実習だけど、MMUでは4年次に行かなくていいから、教育実習が終わったらすぐに教採! 大変だったな。

MMUで教職を目指すとなると、専攻分野に加えて取り組むことになるから、そこも覚悟しておいた方がいい。だからこそ教養が身に付くわけだから、私としては結果オーライかな。

(野) 三瀬さんの言う通り、広く学べる点こそ、うちの強みがある。「学校」ってやっぱり社会から独立して存在しているわけじゃない、その中に在るもの。新しい学習指導要領にも「社会に開かれた教育課程」とあるよね。

私達の社会は、経済とか政治とか色々な要素で構成されている、教育もその影響を多分に受けている。だから、広い視野をもって教育を考えることってすごく大事なんだよ。うちのリベラル・アーツは、まさにそれを体現してくれている気がするな。

Q 先生になるために必要な心構えとは?

(輪) 正直、先生になるのはすごく不安! でも、それ以上にワクワクしているのは、「大好きな子どもたちと一緒にいられる」ということ。そして、この4年間、大変な道のりだったからこそ、いざ現場に立つても、もつと頑張れる! と思えるはず。この2つを心の糧にして頑張りたいなあ。

(野) 確かに、子どもたちと関わることを自分が楽しんでいることは大事だよ。今、教師は多忙で大変だとされているけど、それは単に労働時間だけの問題ではなく、あまりにも色んなことに煩わされて、「教師ってなんだろう」と思い悩むからかもしれない。「これって本当に子どもたちのためなの?」「教育にとって必要なことなの?」ってね。それは社会的な問題として考えていかなきゃいけない。

(竹) そうしてもう一つ大事なことは、「自分も学ばせてもらっている」ということ。「自分は教える人で生徒は学ぶ人ではなく、教室では、お互いに学ぶことができる。それを忘れなければ、すでに素晴らしい人!」そして素晴らしい先生になれる。

(野) 「謙虚な姿勢」って大事だよ。分かっているのと知ることが、学びのスタートになる。

09 教室は、先生と生徒が共に学ぶ場所

「木を見て森を見ず」という言葉があるけど、教育って、いざ現場に入り込むと、目の前に「一生懸命にならざるをえないから、」そもそも教育ってなに? っていう大きな視点で考える余裕がなくなっちゃうんだよね。そういう根本的な問いを考えないまま日々がルーティン化すると大事なことを見失ってしまう。だから、時には一歩引いてみることも大事。

現場でも優秀な先生はみんなそうしているよ。現場の経験を踏まえて、本や研修で理論を学んで、それをまた現場に持ち帰って。経験だけではなく、かといって理論ばかりでもない。だから、「教育ってなんだろ?」「教育ってなに?」って追及することはやめなくていい!

10 「教育のあるべき姿」を追究し続けることが大事

2人とも、先生になっても大学に遊びにきて欲しいな。「現場ってこうなんですよ」って教えてよ!

(竹) 実際、卒業してもみんな夏休みなんかによく遊びに来てくれますよ。この間も、岐阜出身の卒業生が休暇を利用して宮崎に来た際に声を掛けてくれて、一緒に食事に行きました。異業種の人と話をするのもおもしろいよね。違う視点から教育に活かせる発想が得られることもあるから。

(瀬) MMUは単科大学だけど、教職ではない道もたくさんあって、違う道に進んだ友だちと、卒業後どんな話ができるか今からとつても楽しみです。



みなさん、ご教授ねがいます!

教育実習、大変だったけど楽しかったよ!

どんな経験も学びになるんだよ

先生になっても学ばせてもらっていることを忘れないでね

紙面からあふれてしまった4人の熱いトークはこちら

※ 実習生の授業実習の成果を指導担当教員や校長先生など複数の先生に見てもらい、助言や指導を受けるための授業。いわば教育実習の“総まとめ”

Would you show us YOUR ROOM?



「大学生ってどんな生活をしているんだろう？」
「はじめての一人暮らし大丈夫かな…」
そんな不安を持っている皆さんへ、大学生活がもっと楽しくなる学生自慢のお部屋をご紹介します！

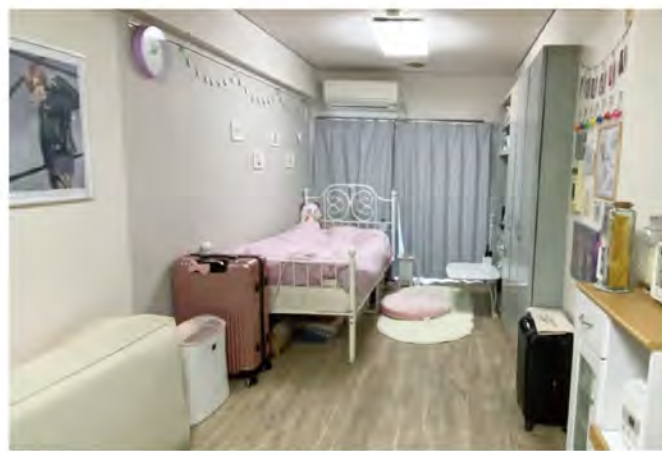
WOMEN'S

インスタグラマー女子必見！ かわいくて安心できるフォトジェニックなマイルーム♡

松崎さんが住んでいるのは、お洒落な茶色い外壁のアパート。wi-fiとケーブルテレビ付き、さらに11畳という十分な広さながら家賃は4万円以下！ このコスパの良さは宮崎ならではの。「大学は中心市街地から近いけど、車の騒音や人の声などは全くなくて、落ち着いて生活できています。お洒落な部屋にするために、基準になる色を決めて、それに合わせてインテリアや小物を揃えるようにしました」。



2年生 松崎 あおい
鹿児島県立武岡台高等学校出身



①お気に入りの絵を壁に掛けて楽しんでいます

②玄関には飾り棚を置いて、思いつきの写真や小物を飾っています



先輩へのメッセージ

好きなように家具を揃えたり、時間を使えたりすることが楽しいです。ホームシックは最初だけなので、めげずに頑張ってください！

MEN'S

“MMUミニマリスト男子”のお部屋を大公開！



2年生 山下 子龍
鹿児島県立伊集院高等学校出身

ミニマリストの山下さんが暮らすのは、物が少なく広々とした部屋。「コード配線は邪魔になるし、見た目もばつづくので隠すようにしています。また片付けや掃除がしやすいように食事机と勉強机を分けています。勉強と休憩、オンオフの切り替えもしやすいのでオススメです。さらに、あえてカーペットやマットは敷いてません。汚れると嫌なので…その分、隅々までちゃんと掃除をするように心掛けてます」。

先輩へのメッセージ

量より質！ お気に入りの物しか部屋には置かない・買わないようにしています。その方が部屋もすっきりして掃除が楽。節約にも繋がるし、いいことだらけです。最初は不安もあったけれど、慣れてしまえば楽しい一人暮らしライフです。



▲ベッドやカーテンなど部屋の印象を決めるものは床の色との相性をみて決めました

①軽音部に所属しているので僕にとってギターは必須。勉強の合間に練習することで気分転換にもなります

②お気に入りの服は全部ハンガーにかけて収納。服が長持ちするし見た目もきれい

魅力たっぷりシェアハウスの実態を突撃取材！

大学から自転車で10分、加えて、中心市街地からもアクセスしやすいシェアハウス。河野さんは以前別の場所に下宿していましたが、家主から「あと1カ月で閉める」と言い渡されて急遽、たまたま空きのあったこのシェアハウスに入居することに。後々留学することを見越して、「共同生活に慣れてると留学先で日本人以外のホストファミリーやルームメイトと暮らす際に負担が減るかな」と考えたのも理由だとか。タコやキパーティーやBBQなど、盛大に盛り上げられるのが利点の一つだと話します。



4年生 河野 千鈴
Intercultural Communicationゼミ
北海道札幌手稲高等学校出身

先輩へのメッセージ

シェアハウスといえどそれぞれのカラーが出てくるのがいいところ！家財を買わなくても一人暮らし・独立できます。新たなメンバーが来ることを楽しみにしています。



▲なんとリビングにはプロジェクターが設置されていてNetflixやFOD、YouTubeなどが大画面で見放題

◀もちろん自分だけの個室もあります。一人の時間も大事ですね

スポーツマンには、心温まる“帰る場所”があった！

バスケット部で頑張っている加藤さんが住んでいるのは、スポーツマンらしからぬ、お洒落で落ち着いた部屋でした。そこは、大学から徒歩3分、近所のスーパーまで徒歩5分。大学に通うにはなんとも便利な立地です。下の階にはお惣菜屋さんでもある大家さんがいて、仲良くなったらお惣菜をくださるそうです。



1年生 加藤 竜矢
栃木県 作新学院高等学校出身

①靴やバスケットシューズにはこだわりが特に強いです。バイトで稼いだお金がいつの間にか靴に変わっています(笑)

②一人旅で大分に行ったときに一目ぼれして買った暖簾。別府で地獄巡りをしたときに見つけました。一人旅が好きなので、ご当地のものをもっと集めていきたいと思っています

先輩へのメッセージ

初めての一人暮らしは不安かもしれませんが、洗濯機と炊飯器の使い方を覚えて、いい友達が周りにいればなんとかなります。心配しなくて大丈夫！



MICHISHITA AZU



1

鹿児島県立鹿児島南高等学校出身
2年生 道下 愛鈴

- ①なるべく着回しやすい服を選ぶ
- ②中庭:上の階から見下ろすとハートに見える場所がある!
- ③少人数制で主体的に勉強できる
- ④色々な人と出会える

WAKIMOTO TAMAKI



2

宮崎県立宮崎西高等学校出身
2年生 脇元 碧希

- ①購入する際は色合いや質感を考えて選ぶ
- ②図書館:よく自習で利用していて落ち着く場所
- ③街中にあり、どこにでも簡単に行ける
- ④留学制度があること

KIRIHARA AZUKI



3

熊本県立東稜高等学校出身
国際関係論ゼミ
3年生 桐原 梓希

- ①アースカラーでまとめ、ショートヘアが映えるように大きめのピアスをつける
- ②講堂:よくダンスの練習をした
- ③規模が小さいため学内イベントに参加しやすく、学年を問わず交流できる
- ④幅広い分野を学べる



NAKAMURA HONOKA



4

熊本県立湧心館高等学校出身
英米文学ゼミ
4年生 中村 穂乃花

- ①一つのスタイルに囚われず様々なスタイルを試している
- ②615演習室:ゼミの教室であり思い出深い
- ③少人数制なので先生と学生の距離が近く行き届いた指導が受けられる
- ④部活を通して新しい経験がたくさんできた

START!

学生企画2

MMMU FASHION RELAY

どんな格好で通学すればいいのかわからないという人は多いのではないのでしょうか。そこで、私たち学生記者が宮崎公立大学生のリアルなファッションをご紹介します。リレー形式で自分がオシャレだと思う人を挙げてもらいました。ぜひコーデの参考にしてみてください。

MMU ファッションリレー

- 質問
- ①ファッションのこだわり
 - ②キャンパス内で気に入っている場所と理由
 - ③MMUのいいところ
 - ④入学して良かったこと



8

宮崎県立宮崎北高等学校出身
メディア・デザインゼミ
4年生 尾崎 穂波

- ①人と被らない統一感のあるファッション
- ②図書館:課題作成の時によく使っていたから
- ③学年を問わず色々な人と深くかわれる
- ④興味のある分野を勉強できた

GOAL!



7

熊本県立東稜高等学校出身
コミュニケーション・社会心理学ゼミ
4年生 杉山 航太

- ①普段から押し色を意識している
- ②食堂横の芝生:昼食でよく使っていたから
- ③こじんまりとした校舎
- ④深い仲の友人がたくさんできた



6

宮崎県立飯野高等学校出身
コミュニケーション・社会心理学ゼミ
3年生 宮路 彪

- ①過さしやすい恰好
- ②コンパス(売店前の飲食スペース):ちょっとした休憩をする時によく利用するから
- ③人との距離が近く、学生とも教員とも仲良くなりやすい
- ④繋がりが増えた



5

熊本市立必由館高等学校出身
2年生 明川 千夏

- ①古着を取り入れる。映画の登場人物を参考にする
- ②7階ラウンジ:天気の良い日は宮崎市街地が一望できる
- ③人数が少ないので皆と知り合える
- ④今の友達と出会えたこと



I CAN FLY!



人生で初めてのパラグライダー飛行。いざ離陸すると不思議と怖さは薄れ、爽やかな気分。見上げると視界いっぱいの青い空。飛んでいる実感がなく、まるで夢の中にいるようだった



いよいよ離陸。緊張で足が震える



離陸場で飛行コースの説明を聞く

見えるものがある。 チャレンジしてこそ、

vol.14

世界へ漕ぎだせ! 視界よしっ!

平成30年8月から翌年6月まで、韓国・蔚山大学校に公費派遣留学を果たした徳永さんにインタビューしました。



4年生

徳永 笑

Tokunaga Emi

国際関係論ゼミ

鹿児島県立開陽高等学校出身

自分で課したハードルの向こうに

3年次に選抜試験を突破し、かねてからの目標だった公費派遣留学で韓国へ旅立ちました。通常、半年間は語学棟で韓国語を学んで、残りの半年間は現地学生に混じって講義を受けるんですが、私は1年まるまる大学の講義に充てました。2度参加した異文化実習[※]で語学学校は経験していたし、新しいことに挑戦してみたい気持ちでお願いしたんです。

でも、いざ向こうでの生活が始まると想像以上に難しく、専門用語が飛び交う講義を韓国語で理解し、ハンダルの学術論文を読んで要旨をまとめる。語学の習得と、論文の扱い方や課題へ

日本と韓国の間に立って

同世代との関わりの中で、日韓関係の影響を感じることはほぼありません。でもご心配の方からは時折、日本への不満をぶつけられることも。その時は衝撃を受けましたし、対応に悩みまし

の取り組み方を並行して学んでいるように。講義を録音して聞き返したり、わからない単語はメモしておいて後で調べたり、最初は要領をつかむだけでも一苦労だったのを覚えています。現地の友人たちに教えてもらう場面もしばしば。韓国人たちとて、心の距離がすごく近い気がします。一度挨拶しただけで、もう「友人」と呼び合えるような。そんな彼らにいつも支えられていました。ある日、「えみちゃん、日本人だったの忘れてたよ」と言われたんです。これがすごくうれしくて……。「日本人留学生」という枠にとらわれることなく、国境を越えた繋がりが持てたと実感した瞬間でした。思い切った、パラグライダーサークルに入ったのも転機でした。行動範囲も交友関係もグッと広がりました。初めて一人で空を飛んでみて何が吹っ切れた気がします。



韓国人の友人と4人でセブ島に女子旅へ

た。その一方で、日本にいても、「韓国って〇〇なんですよ」と負のイメージを語ることは珍しくありません。ゆくゆくは「二国間の橋渡し」ができればと思うけど、それってちゃんと専門的な知識を持つてこそ、言えることだと思うんです。

留学を目指す後輩へメッセージ

私の留学は計画通りにいかない部分もたくさんありました。でも、偶然の出会いでも、自分のためになるものを見極めて挑戦を重ねることで、視野も可能性も絶対に広がっていくと思えます!

※ 3週間〜1カ月の間、学術交流協定校等において語学・文化研修を行う短期留学

MMUの教員が、講義では垣間見ることのできない「頭の中」を語ります。

大事なものは“人の力” そこにITをどう活かすか

教授 | 辻 利則
TSUJI TOSHINORI

理系学生が地域づくりに目覚めるまで

大学時代は、4畳半の風呂なしアパート暮らし。住まいはちょうどこの(MMUの)近辺でした。昔は安い食堂や飲み屋さんがあって、行きつけの店は、カウンターに座ったら豆腐がポンッと出てきた。「いくら?」って聞いたら「100円」って(笑)。学生に優しい街ですね。バイクが大好きで、夏休みに北海道までツーリングしたことも。ほとんどノーブランチの旅だったけど、偶然知り合った人と仙台でわんこ蕎麦を食べに行ったり。楽しかったなあ。

卒業後は工業高校で5年間教鞭をとっていました。でも次第に「もっと研究がしたい」という思いがつのってきて。大学の研究室を訪ねて研究に参加させてもらっていました。しばらくして「大学教員にならないか」と声を掛けていただいたのが転機になり、高校教員を辞めてMMUの「助手」というポジションに。30歳の頃です。

当初は、「レーザー誘雷」についての基礎研究に打ち込んでいたんですよ。興味の対象が変わったのは、平成17年に宮崎県を襲った台風14号、そして平成18年の豪雨災害で私の地元・えびの市が甚大な被害を受けたのがきっかけでした。基礎研究ももちろん大事だけど、「人や地域の役に立つ研究をやらう」と。防災研究の第一人者である東京大学特任教授・片田先生に学会でお会いした時に「防災は絶対に誰かの役に立つから、是非やってみてください」と背中を押されたことも大きかった。東日本大震災でさらに思いが強くなり、以降はもっぱら研究より実践です。

いつも誰かが指針を与えてくれた

地域に入って課題に取り組むやり方は、社会学の先生に教えてもらいましたね。先生は研究の対象となる某地域に実際に1年間暮らして、住民と本当の信頼関係を築き上げていた。その姿を見て「現場と一緒にコソコソとやっていくことにも意味があるんだ」と気付いたんです。私はもともと理系の人間だからそんな発想はなかった。実験とは全く違うアプローチですからね。いま私がこうしているのは、人文系のMMUにいるからこそなのでしょう。

防災、災害弱者(高齢者・障がい者などの要援護者)支援といいながら、結局、根本にあるのは「コミュニティづくり」です。繋がりを強化すれば、おのずと見守り体制が出来上がってきますから。それを補助するために「暮らしのtonカード」などの導入に取り組んでいるわけで



暮らしのtonカード

辻教授と宮崎市中央西地区の自治会が共同開発した地域のポイントカード。自治体加入世帯に1枚ずつ配布し、登録施設・店舗を訪れるとポイントが付与される仕組み。ポイントは商品券と交換できる。

す。でも、正直なところ、「ITを必要としない世界」が理想なんだと思います。それは今の時代ありえないけどもね。人の力で“できる”ところに、ITは必要ない。そのせいで今あるものまで失ってしまったら元も子もないです。これは、学生に教えてもらいました。

以前、研究室に筋ジストロフィーの学生が所属していたんです。ゼミのために大学に来るのも大変だから、「君の家に機材を設置して、テレビ会議で参加してはどうか」と提案しました。でも彼は「先生、僕は大学に行きたいです」と。「実際に皆と会って講義を受けたい、ゼミに出たい」って言うんです。ハッとした。それはそうだな。

こちらで考えて与えたものは、時に当事者にとって不都合な場合もある。だからこそ、一緒に考えて作り上げるべきなんです。地域においても同じこと。地域で活躍する方たちの邪魔をしないところに導くのが大事なんです。「ITが全部やってくれますよ」だと、コミュニティなんてできないから。



つじ・としのり/専門:システム工学、災害情報、地域政策。宮崎大学大学院工学研究科博士後期課程システム工学専攻修了。宮崎県の公立高校の教諭を勤めたのち、平成5年から本学助手、講師、准教授を経て、同20年教授。現在に至る。

宮崎のタカラ!



宮崎といえば「マンゴー」、「青島」などを思い浮かべると思いますが、まだまだ知られていないタカラが多数あります。その中で今回は「ライチ」と「綾町」に着目し、宮崎についてより知ってもらうために私たちのプロモート案を紹介します。

plan 1 Marriage ライチ

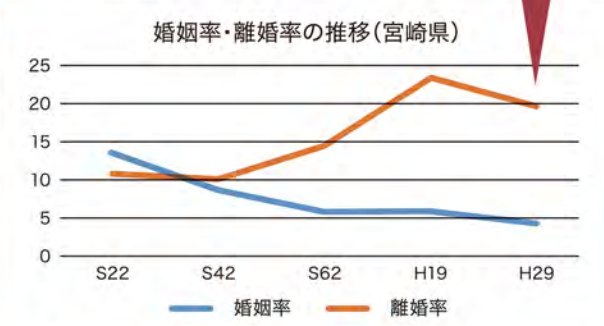
担当：海邊 岩平氏川、遠近

宮崎のライチについて

はじめに、宮崎県産ライチは宮崎の特産品としてポストマンゴーを目指しており、国内流通の市場シェア約99%を占める安価な海外産ライチと差別化するため、宮崎県が誇るマンゴーの栽培技術を応用している。特に、新富町で採れる「楊貴妃ライチ」は大きさが50g以上、糖度15度以上の厳選された1玉千円の国産ライチとして有名である。

私たちは宮崎のライチをより広めるため、宮崎の結婚式で夫婦円満の願掛けとしてライチを食べてもらいたいことを提案する。

ちなみに、
S22と比べると…
婚姻率(人口千対) ↓ (H29: 4%)
離婚率(人口千対) ↑ (H29: 20%)



資料：厚生労働省「人口動態調査」

ライチがもつ夫婦円満の要素

- 1 色**
ライチの皮の赤色には「幸福を呼ぶ」、果実の白色には「穢れや悪を払う」という意味がある。また白色には「気分を一新する」イメージがあり、新たな環境の中で2人の色を作っていく新郎新婦にふさわしい。
- 2 形**
丸い実の形は「夫婦円満」「子孫繁栄」の象徴とされている。
- 3 時期**
ライチの旬である6月～9月は梅雨の時期にあたるが、「雨が降ると縁起が良い」という言い伝えがある。結婚式で降る雨は、新郎新婦が生涯流す涙を神様が代わりに流してくれるといわれている。
- 4 中国におけるライチ**
ライチの木は長年にわたって実がなることから「夫婦円満」「子孫繁栄」をもたらす、中国の結婚式で夫婦円満を祈願して寝台の周囲に魔除けの品々(ライチなど)を撒き散らす「撒帳(サアチャン)」という儀式が行われている。

具体案

私たちは、宮崎プロモートにおいて、新郎新婦をターゲットにし、結婚式の演出として宮崎のライチ(Marriageライチ)を使ったライチ酒のテーブルラウンドを提案する。

ライチ酒のテーブルラウンド

新郎が瓶を持ち、新婦がライチの入ったかごを持って各テーブルを回る
= 瓶の中のライチの数が多いほど子宝に恵まれる

↓

ゲストの方にかごの中からライチを瓶の中に入れてもらう
= ゲストが新郎新婦の幸せを願う

↓

新郎新婦が瓶の中にお酒を注ぐ
= 初めての共同作業

↓

式後、家に持ち帰り熟成させる
= 漬ける期間が長いほど夫婦の仲が成熟する



plan 2 ツムツムライチ

担当：大島 市来久見瀬

新たな特産品「ライチ」

宮崎といえばマンゴーや日向夏といった果物を思い浮かべる人が多いが、宮崎のライチは生産量が国内2位である。私たちは新たな特産品としてライチを広めるためのプロモート案を考えた。この調査をするにあたって都市部の(株)BONNOUという農園を経営する会社にインタビューした。この会社は家族で栽培から販売までを行っており、「太陽の真珠」というブランドのライチを販売している。今後、摘みとり農園を展開していく予定という中で、それに合わせたプロモート案を考えた。

ターゲット

私たちは、この宮崎プロモートにおいて、ターゲットを家族にした。それは「ライチの育ち方」に起因する。ライチは成長が遅く時間をかけて育つという点が、真の意味で家族になるためには、時間を要するという点と共通している。また、ライチの実は寄り添いながら成っている。これも家族が団欒する様子と重なるといえる。また(株)BONNOUをはじめとしたライチ農家も家族で経営しているところが多い。

提案

そこで、私たちが提案するのは「ツムツムライチ」で家族との絆を深めようというものだ。この「ツム」にはライチを摘む、経験や発見を積み、思い出を積み重ねたという意味を込めた。現在の日本における家族は、共働きや塾通いの増加



により、休日に家族全員が一緒に過ごす時間が減少している。そのため、少しでも家族の時間を増やし、共に何かを経験するということが必要なのではないかと考えた。

具体的に、まずは家族でライチを摘み、新たな経験を共有することで家族の仲を深めることだ。ライチ摘みは、生ライチ自体に希少性があり、日本でも収穫できる場所が限られており、温暖な気候の宮崎だからこそできる。さらに私たちはライチ摘みに行きたくなるような「ツムツムツリー」を提案する。「ツムツムツリー」と名付けたライチの木を農園に設置し、ライチを摘んだ家族が感想や思い出に残ったことなどをボールに書き込み、家族ごとにまとめて飾っていくというものだ。各家族の思い出が積もったツムツムツリーの前で写真を撮り、その写真をプレゼントすることで思い出を形に残すことができる。こうした仕掛けを作ることでツムツムライチが家族の絆を深めてくれると考えた。また、摘んだライチを家族と一緒に食べることでその日あったことなどを話題に、コミュニケーションをとることもできる。

plan 3 照葉ん校

担当：小園 前田・西口

宮崎県東諸県郡に位置する綾町は、日本最大級の照葉樹林をもち、2012年には、ユネスコエコパークに認定された魅力あふれる場所である。その綾町には、日本で2番目の高さ誇る照葉大吊橋が、自然生態系の素晴らしさや大切さを認識してもらったために建設されている。

今回私たちは、この綾町をより魅力に感じてもらうため、照葉樹林とはんこを組み合わせた「照葉んこマップ」という学習型マップを作成し、小学生の校外学習の場(学校)に「照葉ん校」として訪れてもらうことを提案する。

子どもと自然

現代の子どもの急速な都市化や生活環境の変化により、室内で遊ぶことが多く、自然と接する機会が減少傾向にある。習い事をしていない子どもも多く、学校外での遊びの時間を確保するのが難しい現状だ。自然離れが進んでいる現状だが、子どもが自然の中で学習することは、3つの期待できる効果がある(左図)。



照葉んこマップを使って学習しよう!

学校の校外学習の時間を利用した「照葉ん校」を開校することで、綾の自然の中で学習体験をしてはどうだろうか。

照葉大吊橋遊歩道には2つのコースがあり、その途中には、いくつかの木の根元に、クイズのプレートが設置され、木の名前や特徴について学ぶことが出来る。このクイズのある木をポイントにした「照葉んこマップ」を作成し、それぞれの葉っぱの形をしたはんこを設置することを具体案に挙げる。

この照葉ん校で、小学生に「照葉んこマップ」を利用した学習を体験してもらおうことで、綾町の自然の素晴らしさや大切さを認知してもらい、また家族でも訪れる機会になるのではないだろうか。





パープルリボンキャンペーンでスピーチする学生(2019年11月 宮崎県庁)



SDGsをこころく「ゴール・ゴールズ」を囲んで講話を聞くメディアとジェンダーゼミ受講生(2019年11月 本学演習室)

しかた・ゆみ/専門:マス・コミュニケーション論、ジェンダー論。東洋大学大学院社会学研究科博士後期課程単位取得退学。平成11年から本学講師、准教授を経て、同26年教授、現在に至る。

最近、宮崎公立大学はSDGs(Sustainable development goals)に取り組んでいるか」と聞かれることが多い。持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載される2016年から2030年までの国際目標である。持続可能な世界を実現するための17のゴール(目標・169のターゲット(対象)から構成され、「地球上の誰一人として取り残さない(Leave no one behind)」を誓うものだ。

宮崎公立大学(MMU)においても教育、研究、地域貢献事業を通してSDGsに関する多様な取り組みがある。メディアとジェンダー演習では、長年国連で活躍されてきた山田成美客員教授に、日本におけるSDGsの取り組みの現状と課題についてご講話いただいた機会に、これまで受講してきた科目の内容を振り返り、SDGsの17の目標と本学の学びがそれぞれ関連していることを確認した。

MMU型リベラルアーツは、グローバル人材を育成する国際文化学科として様々な学問的視点から国際社会の課題を学び、かつ解決策を提案するなど実践的な取り組みも射程に入れたカリキュラムにより支えられている。よってSDGsの17の目標に関することが学びの内容に網羅されるのだ。広い教養と深い専門が重層的に配置され、1つの科目が枝葉のように他の科目と関連付けられていることも大きい。これらのつながりを「見える化」して示すことは、本学の今後の課題だが、一つ言えることは、宮崎という地域に根ざしながら、国際的に幅広く、かつ自在に考えることのできる人材の育成を目指すMMU型リベラルアーツを修めた卒業生は、未来を担う人材として自信と誇りを持ってもらいたいということだ。

MMU型リベラルアーツとSDGs

編集後記

企画、取材、編集など初めての経験でしたが、楽しみながら完成させることができ、とてもよい経験になりました。協力してくれた方々には本当に感謝しています。ありがとうございました。

学生記者 3年 奥村 奈央(社会学ゼミ)

今回初めて学生記者として制作に参加し、様々な貴重な経験をすることができました。行き詰まることも多かったです。とても楽しい企画だと自負できるので、これを通してMMUの魅力を知ってもらえたらいいなと思います。

学生記者 2年 久家 三奈

広報誌学生記者としてMMUSHIP制作に携わるといふ入学時から夢を叶えることができ、本当に適しかったです。どんな記事が面白いのか、レイアウトはどうしたら見やすいか? など苦戦はしましたがそれ以上に良い経験を得られました。ありがとうございました。

学生記者 2年 佐野 明美

今回、広報誌に携わらせていただき、MMUの魅力は私自身も再発見することができました。学生記者は初めてだったので、自分たちで企画を考え、MMUの良さを引き出していくのは大変でしたが、とても貴重な経験をさせていただきました。

学生記者 2年 前田 紗里

はじめに何について企画を進めていくか、次にどのようなレイアウトにするかなどを考え、様々な人に協力してもらいながら取材と撮影をし、完成したページです。大変なこともありましたが、一から自分たちで考え完成したものを目にした時は、達成感に溢れました。とてもいい経験ができたと思います。

学生記者 2年 道下 愛鈴

自分たちの考えた企画が形になったのを見た時は本当に感動しました。取材をしなければ、知ることのできない友人の話も聞けなかったので、取材の楽しさも学ぶことができました。また次も参加したいと思います!

学生記者 1年 佐々木 さくら



この日壇上でトークセッションに参加したライツメンバー。堂々と自分の意見を述べる様子は、「さすが!」の一言

「第14回 わけもんの主張」に潜入!

※ どうやら、メンバーがステージ上にいるらしい...



※ 「わけもんの主張」若者が政治や選挙に対し、日頃考えていることや感じていること、求めていることを意見発表するイベント。政治等に関する認識を深めるとともに、県民の主権者意識や政治参加意欲向上を目的とする。第14回は令和2年2月15日(土)に本学にて実施。主催:明るい選挙宮崎県推進協議会、宮崎県選挙管理委員会



当日はたくさんの来場者たちが103大講義室の席を埋めた

普段は...

選管の人と選挙啓発活動に関する打ち合わせを定期的に行います。1月某日、その様子を覗かせてもらおうと、ライツのオリジナルグッズ・タオル制作について話し合っていました。



「ライツ」は県や市の選管からの依頼で、小学校で模擬選挙を行ったり、商業施設で啓発活動をしっていました!

CIRCLE de GOSHIP

MMUの部・サークル等に関する噂の真実を調査。

行政の依頼で学生が教壇やステージに立つ スゴイ部活がある!?

4年前に発足した選挙啓発部「ライツ」は、主に県や市の選挙管理委員会(以下:選管)と連携して選挙啓発活動に取り組んでいます。

平成31年2月には、公益財団法人明るい選挙推進協会から「明るい選挙推進優良活動賞」を受賞するなど、その活動が各所で認められており、同年4月には16人の新入生を迎えました。「政治に関心がある人はもちろんですが、普通の部活ではできないこともたくさんあると思うので、その点に魅力を感じる人も多いのでは」と代表を務める2年・本谷涼太さんは話します。

選挙期間中に同部のインスタグラムアカウントで投票日までカウントダウンを行ったり、市街地で啓発グッズを配布したりするほか、令和元年の参議院議員選挙の際には大型商業施設の特設ステージで地元人気タレントとともに選挙啓発トークショーに参加。近隣の小学校や高等学校から、出前授業・模擬選挙実施の依頼などが舞い込むこともあります。「教員の皆さんからは「大人が言って聞かせるより、学生が選挙について語ることに意味がある」と言ってもらえます」と本谷さん。若者の投票率の低さが依然として叫ばれる中、若者自身の言葉で投票の重要性を訴える「ライツ」の力が求められています。

選挙啓発部「ライツ」についてもっと詳しく知りたい人は



MMU NEWS MMUの新着情報は、公式ウェブサイトでもご確認いただけます。

5月~7月 特別講座を開設 【いつか帰ってきたくなる街づくり】

宮崎の地域課題をビジネスチャンスとして昇華できる人材の育成・輩出などを目的とした特別講座を開設。新富町をフィールドに、一般財団法人こゆ地域づくり推進機構の方を講師として地域課題や取組について学ぶだけでなく、ビジネスプランの計画や実地検証を行い、関係者の方々に披露しました。



6/13 「学長だんらん講義」を実施

日南市にて、有馬学長による「学長だんらん講義」を実施。「選挙とは何か?—ユニーク知事の歴史から考える—」をテーマに、日本の地方自治や小池都知事を事例に劇場型首長について解説するとともに、選挙といかに向き合うかについても、講義を行いました。



7/14 「まつりえれこっちゃんやざき2019」でダンス部が大賞を受賞

「まつりえれこっちゃんやざき2019」の「ダンスえれこっちゃんやざき(一般部門)」にて、ダンス部員42名で構成するDeepactionが、えれこっちゃんやざき大賞を受賞しました。いきいきとした表情や大人数を活かしたダイナミックさなどが大賞受賞の決め手となりました。





未来の コンパス Compass

社会で活躍するMMU卒業生に社会人としての近況を語っていただきました。

後悔しない道に進むには 自分に正直でいること

Solaseed Air



株式会社ソラシドエア
客室乗務員

渡 ちなみ
Watari Chinami

平成28年度卒業生 音声学ゼミ

「フット」同じフライトはない

私は現在「客室乗務員」として勤務し、飛行機の安全運航のための保安業務を行っています。目的地まで安全に、安心して過ごしていただけるよう、何か通常と異なることはないか常に五感を働かせて乗務しています。さらに、機内でドリンクサービスを行ったり、お客様のリクエストにお応えしたりするのも私たちの大切な仕事です。限られた空間と時間の中で、どうすれば快適にお過ごしいただけるか。お客様との会話の中から、今何をすれば喜んでいただけるかを考えます。一つとして同じフライトはないので、毎便毎便より良いフライトにするために頭を使って行動しなくてはならないところが難しく、そしてそこがまさに最も楽しさを感じる部分でもあります。

ゼミや部活を通して 「タフな自分」を発掘

客室乗務員を目指すようになったのは高校生の頃でした。それ以前は漠然と「日本と海外を繋ぐような仕事に就きたい」と考えていたものの、徐々に、様々な場所に行つて多くの人と出会う「客室乗務員」という仕事を目標にするようになりました。MMUを選んだのは、夢を実現するために英語のスキルが不可欠だと考えたからです。しかし一番の理由は「母語以外にも言語を話せるようになりたい」という強い思いでした。

学生生活で最も私を成長させてくれたのはゼミでの体験。私が所属していた音声学ゼミ（高教授担当）には「夏ゼミ・春ゼミ」と呼ばれるものがあり、夏と春の長期休暇には毎日ゼミ生が集まって英語の勉強をしています。午前9時から午後5時まで、主に

TOEICの勉強や、英語の文章を要約して発表するなど、とにかく毎日英語を聞いて話す環境にいました。正直、大変でした。でも今思い返すと、一つのこと集中して取り組んだこの時間はとても貴重でしたし、自分を大きく成長させてくれたと思います。

さらに在学中は吹奏楽部に所属。部員全員で協力してコンクールや定期演奏会などを乗り越えてきました。特に定期演奏会は、バンドフレット作りやスポンサー集めなど、開催に向けて一から部員全員で作りました。この経験はチームワークを大切にしなければならぬ今の仕事に繋がっていると感じます。

これらを通して私は、「どんなことでも最後まで諦めず、がんばり続けることができるタフさ」が自分の中にあることに気付きました。これは客室乗務員の不規則な業務の中で欠かせない「強み」として活かされています。

先輩へのアドバイス

学生のうちに「自分がどうなりたいか」を見つけておくと良いと思います。周囲から言われるのではなく、自分は何に興味があつて、どんなことをしてみたいのか考えて行動すれば、絶対に後悔しない過ごし方ができると思っています。ぜひ多くの経験を積み、心から進みたいと思える道を見つけてください。

株式会社ソラシドエア

2015年、前身のスカイネットアジア航空株式会社から現在の社名に変更。「安全を経営の基盤とし、サステナブルな企業経営と地域社会への貢献を目指す」を経営理念とし、宮崎をはじめ九州の各空港と羽田空港を結ぶ路線を主要運航路線とする。2006年から全日本空輸との共同運航を開始し、顧客の安全性及び利便性の向上を図っている。